



2009. 4
NO.

13

発行 猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
住所 福島市杉妻町2番18号
(事務局 福島県生活環境部水・大気環境課)
TEL 024-521-7258 FAX 024-521-7927
■ホームページ: <http://www.ht-net2.1.ne.jp/kosukyo/>
■E-mail: kosukyo@ht-net2.1.ne.jp

みずみらいつうしん

湖美来通信

「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖。裏磐梯」

平成20年度 第7回猪苗代湖・裏磐梯湖沼 フォトコンテスト入賞作品	2~3
平成20年度下半期 協議会活動状況について/ 水環境保全推進員活動報告 / 支援事業募集	4
広がる水環境保全活動 ~猪苗代湖を守るために~	5
おすすめスポット / 読者プレゼント / 協議会からのお知らせ	6

裏磐梯 ~春

入選

「湖上の三重奏」 松原湖
藤田 一成さん(郡山市)



猪苗代湖
~夏

優秀賞

「湖畔の彩」 猪苗代湖松原湖
斉藤 茂樹さん(郡山市)



~平成20年度~ 第7回 猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト入賞作品より

湖美来基金は、水環境保全活動を支援しています。

最優秀賞



「晩秋」裏磐梯湖
佐藤 潔さん(山形県天童市)

平成20年度
第7回

猪苗代湖・裏磐梯湖沼 フォトコンテスト 入賞作品

優秀賞



「静寂」裏磐梯湖沼
川名 和夫さん(郡山市)

佳作



「朝霧の中に羽を休め」裏磐梯湖沼
長谷川 錦治さん(いわき市)



「夜明けのシンフォニー」北塩原村小野川湖畔
鈴木 彦三さん(福島市)

◆趣旨
豊かな自然に恵まれ、良好な水環境を有する猪苗代湖、裏磐梯湖沼について、多くの方の関心と理解を得るとともに、意識の高揚を図る

◆テーマ
①風景や動植物などの豊かな水環境
②暮らしの中の人との関わり
(いずれも猪苗代湖と裏磐梯湖沼について)

◆応募作品数 184点
◆応募者数 77名
◆審査会 平成20年10月24日(金)
◆入賞作品 最優秀賞以下15作品
◆表彰式 平成20年11月27日(休)
◆展示 福島市・会津若松市・郡山市・北塩原村・猪苗代町(展示は終了しています)
◆その他 入賞作品は協議会のHPや広報等に活用します



「輝く湖沼」小野川湖
齋藤 竹男さん(福島市)



「水辺の華」北塩原村緑野
小関 キヨ子さん(福島市)



「湖畔の芽ばえ」猪苗代湖天神浜
伊藤 留夫さん(大玉村)



「冬晴れ」猪苗代湖
鈴木 正秋さん(郡山市)



「行進」猪苗代湖舟津浜
田村 喜彦さん(郡山市)



「沼にはえる」裏磐梯大沢沼
青田 博志さん(福島市)



「落陽」北塩原村
清野 文彦さん(福島市)



「氷の芸術」猪苗代町天神浜
伊藤 松男さん(郡山市)



「春近し」猪苗代町天神浜
岩下一男さん(福島市)

平成20年度下半期 協議会活動状況について

「猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラム」を開催しました
 〔11月27日〕



▲橋本講師の講演

猪苗代町のホテルリステル猪苗代にて、フォーラムを開催しました。基調講演として、夏井川流域の会・代表の橋本孝一氏より、流域の個人や団体が連携協力し、一体となって夏井川の環境保全を実施している成果についてお話いただきました。

また、水環境保全活動報告として、「裏磐梯ホテルの会」と「川桁ふるさと会」の2つの団体から、日ごろの活動状況などの発表がありました。その他、県の水・大気環境課より、猪苗代湖の大腸菌群数の推移についての報告がありました。



▶同会場にて、フォトコンテスト表彰式も行いました

「生涯学習フェスティバル」と「ふくしま環境エネルギーフェア」に出展しました

今年度は、2つの大きな催しが、ビッグパレットふくしま(郡山市)で開催されました。本協議会も、10月11日～15日に「生涯学習フェスティバル」、12月20日～21日には「ふくしま環境エネルギーフェア」にそれぞれ出展しました。

パネル展示や、簡単な水質実験を来場者に体験してもらおうなどとして、猪苗代湖と裏磐梯湖沼の水環境保全を啓発しました。休日のイベントでもあり、多くの来場者に立ち寄っていただくことができました。



◀環境フェアで実験中です



▶生涯学習フェスティバルのプレゼンテーションの様子

*水環境保全推進員活動報告

吉井推進員
 は、郡山市湖南町の舟津浜を中心に活動されています。湖南地区は、特に湖水の美しさが知られて



▲吉井孝征 推進員



▲舟津浜を巡回中です
 ゴミ等はほとんどなく、地区の方々のご努力を伺わせます。
 訪ねた日は、地



▲舟津川河口付近。川岸の緑の部分には栗の花。春には黄色の花が舟津川を彩ります

区は、特に湖水の美しさが知られていますが、砂浜にもゴミ等はほとんどなく、地区の方々のご努力を伺わせます。訪ねた日は、地区の用水路に設置されたスクリーン清掃の最中でした(スクリーン：農業系の草やワラなどを湖へ流入しないように設置する網)。舟津川の川の恵みと猪苗代湖のきれいな水を、地区のみんで守り、また自分たちも楽しむという、自然体の姿勢が伝わってきました。

募集します!

平成21年度 「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来基金 水環境保全活動支援事業

猪苗代湖・裏磐梯湖沼群流域において、自主的・主体的に水環境保全活動を実施する団体や個人に対し、その活動経費を助成しています。

助成対象事業

- ①水生動植物の保護育成や水辺の清掃活動などの実践活動事業
- ②水質調査や動植物調査などの調査研究活動事業
- ③水辺環境の学習会や講演会などの普及啓発活動事業
- ④人と水との関わり、文化歴史等に関する調査普及活動事業
- ⑤その他、協議会長が認める事業

助成額

1団体(個人)当たり20万円限度

助成事業の実施期間

平成21年4月～22年2月の期間に実施する事業

募集締め切り

平成21年5月11日(必着)

問合せ先

詳細は協議会事務局へ
 電話 024・521・72558

広がる水環境保全活動

「猪苗代湖を守るために」

環境省の発表する全国の「水質ランキング」で、猪苗代湖が「ランキング対象外」となってから1年余り。流域での水環境保全活動は、確実に広がっています。

かつては4年続けて日本一の水質を誇った猪苗代湖ですので、「ランキング対象外」の報道はかなり大きな衝撃を伴って、県民の皆さんに伝わりました。そして、この報道以降、「日本一の水質を取り戻そう」と、いろいろな団体がいろいろな形で水環境保全活動を展開しています。猪苗代湖には以前から熱心に保全活動をする団体等がありましたので、これらと共に今後も猪苗代湖を守る大きな動きとして継続して欲しいと思います。



▶清掃活動

▶一斉調査の様子

※ランキング対象外 猪苗代湖は、昨年に引き続き環境基準の一つである大腸菌群数の基準値を一時的に上回ったため、ランキングの対象とならなかったもの。



▲ヨシ刈りの様子

具体的にはどのような活動が行われたのでしょうか。

春から秋にかけては、24時間テレビやエフエム福島、ふる里会ふくしまなどの民間主導で、大がかりな清掃活動が何度も湖岸で実施されました。県内外から多くの方がボランティアとして参加していました。

また、9月には、産民学官でつくる「清らかな湖、美しい猪苗代湖の水環境研究協議会」が大規模な水質一斉調査を実施し、成果を報告しています。さらに、地元の猪苗代青年会議所が「子供版いなわしろ湖サミット」を開催し(9月)、水質調査や小学生同士の意見交換などを行い水環境保全の大切さを啓発しました。

10月には、国や県、町、地元団体などの協力のもと、北岸部のヨシを刈り取り、たい肥化して有効利用を図る事業を実施し、ヨシ刈りボランティアとして県民も参加しました。

これらの実践的な環境保全活動を通じて、猪苗代湖への関心がさらに高まり、連携や協力を通じて猪苗代湖の水環境保全活動の輪が広がることを願っています。

さて、今年度環境省が発表した湖沼水質ランキング(平成19年度湖沼水質ランキング・平成20年11月発表)の結果は?というところ、(表1)のとおりでした。磐梯五色沼湖沼群が2位になりましたが、残念なことに猪苗代湖については、2年続けてランキング対象外ということになりました。

しかし、私たちの力を合わせ、積み重ねていけば、「水質日本一」が復活する日も遠くはないはずですよ。



▶サミットに参加した子供達

■〈表1〉平成19年度湖沼水質ランキング

順位	湖沼の名称	都道府県名	COD値(年間平均)
1	支笏湖(しこつこ)	北海道	0.6
2	磐梯五色沼湖沼群	福島県	0.7
3	有峰(ありみね)ダム貯水池	富山県	1.5
4	旭川ダム	秋田県	1.7
5	寒河江ダム貯水池	山形県	2.1
5	沼沢湖	福島県	2.1

* COD=化学的酸素要求量。水中の有機物の量により水の汚れの程度を測る。CODが高いほど汚れている。

次代に残そう 紺碧の猪苗代湖 清らかな青い湖 裏磐梯

「あなたの愛を 湖美来クラブへ」

- ◆ 会員期間 一年間(更新あり)
- ◆ 年会費 法人10,000円 個人2,000円
- ◆ 会員特典 抽選での特産品プレゼント他

協議会では、美しい猪苗代湖と裏磐梯湖沼を「未来へ引き継ぐ」ため、湖美来(みずみらい)基金を通じ、流域での水環境保全活動を支援しています。



あの戦国武将が歩いた道です！

○旧米沢会津街道(北塩原村)

「義」をつらぬき「愛」を信じた、智将直江兼統(なおえかねつ)。関ヶ原の合戦のち、主君・上杉景勝と共に会津から米沢へ移ることになりますが、このときにたどった道が旧米沢会津街道です。

北塩原村を貫く街道は、一部は明治の磐梯山大噴火の際に湖底に沈みましたが、道すじに残る一里塚跡などから、当時の様子を伺うことが出来ます。



▲米沢との境界の旧検界碑へ(申請は通行止めになっています)



お知らせ
 旧米沢会津街道を歩く「天地人記念ウォーク」が、昨年引き続き開催されます。
 ●開催日 平成21年5月17日(日)
 ●参加無料 ※事前申込が必要です
 ●問合せ 北塩原村教育委員会 ☎0241-26-05634

▶写真右/鷹ノ巣一里塚
 写真左/中ノ七里一里塚。若松城から米沢城の間継地点です。



資料提供: 会津古城研究会
 北塩原村教育委員会

協議会からのお知らせ

★寄付御礼

湖美米(みずみらい)基金に対し、ご寄付をいただいております。ありがとうございました。

- ・アサヒビール(株)福島工場 様(12月)
- ・(株)会津電気工事 様(1月)
- ・(株)大東銀行 様(2月)
- ・坂本 清 様(2月)
- ・福島県立喜多方東高校生徒会 様(3月)
- ・中村玄正 様(3月)

(紙面の都合上、恐縮ですが1万円以上のご寄付について掲載させていただきました)

■湖美来クラブ

新規法人会員のお名前をご紹介します。(全会員名については、HPに掲載しております)

- ・戸ノ口堰土地改良区 様
- ・(株)あいづダストセンター 様
- ・天神浜オートキャンプ場 様
- ・情報労連福島県協議会 様



▲標山産米「あさか舞」を麺に練り込んでいます
 ▶出来上がり見本(のりなどの具材はセットに含まれません)



読者プレゼント

「大地の麺」(4食入りセット2箱)
 10名の方にプレゼントします

希望される方は、お名前、ご住所、年齢、湖美来クラブ会員番号(加入の方)、よろしければ湖美来通信へのご意見などを記入の上、はがき、又はメールでご応募ください。

★応募締め切り

平成21年6月30日(必着)

【あて先】

〒960-8670

(郵便番号のみで住所は省略可)

福島県生活環境部

水・大気環境課内協議会事務局

プレゼント係

E-mail kosuiky@hr-net21.ne.jp